

## 「快適な自然と共生する ゆとりの生活環境」

- 下水道整備事業 12億9,205万6千円  
古川渡・小形山・田野倉地区の公共下水道管渠<sup>かみきよ</sup>布設を行います。
- 上水・簡易水道整備事業 13億1,138万8千円  
生活に必要な水を安全に、安定供給するため、施設整備を行います。
- グリーンアクションつる事業 5,439万9千円  
環境にやさしいまちづくりをコンセプトに、自然との共生をめざし、環境保全に努めます。
- 文化会館耐震診断事業 500万円  
市民が安心して施設を利用できるよう、文化会館の耐震診断を行います。

## 「時代の変化に即した地域産業の振興」

- 林業地域総合整備事業 3億486万円  
山村地域の林業生産向上と林業従事者の定住・都市との交流による活性化を図るため、林道と温泉施設周辺の森林公園整備を行います。
- 中山間地域活性化事業 630万円  
農業経営の改善や地域特産物振興により農業の活性化を図ります。
- リーディング商店街創出モデル事業 2,847万円  
地域経済の活性化を図るため、商店街活動の積極的な推進のモデル地域として、三町商店街組合事業への補助を行います。
- 自然観光整備事業 150万1千円  
「登山道・遊歩道整備5カ年計画」に基づき、登山道・遊歩道の整備や案内板の設置を行います。



## 平成11年度事業 「グリーンアクションつる」とは？

地球温暖化・環境汚染・廃棄物の増大などの環境問題は、私たちの事業活動や市民生活に起因するところが大きく左右していることは、いうまでもありません。そこで、「有限な地球」を守り再生させるためには「循環型社会」への移行が必要不可欠となります。

市では、環境保全を重点課題と位置づけ諸施策を展開してきましたが、さらにこの取り組みを進めるため、平成11年度から人・まち・自然にやさしい「グリーンアクションつる」を策定し、より具体的な取り組みを実施することとしました。

このプランは、市民・地域・企業・行政が連携をとり合い、環境保全への実効的な行動を行うことを基本目標に、それぞれが取り組むべき課題を体系化するものです。この中で、市も自らが事業者・消費者であるとの認識に立ち「都留市環境保全行動計画」を新たに策定し、グリーン購入の推進・グリーンスタッフ制度の導入・グリーンランナー（クリーンエネルギー自動車）の購入など、環境に配慮した取り組みを積極的に進め、環境への負荷の低減に努めることとしています。

詳しい取り組み内容については、来月号の広報でお知らせします。

## 「未来を拓く行財政運営」

- 税収納支援システム導入事業 709万4千円  
税の収納支援システムを導入し、収納率向上と税務事務の効率化を図ります。
- 情報公開制度準備事業 297万円  
市民の市政参加と信頼を深めるための、情報公開制度制定に向けて準備を行います。
- 広域連携促進事業 605万3千円  
東部広域市町村圏協議会を中心として、地域行政サービスの均一化・合理化・効率化を視野に入れた広域連携を促進します。

## 「交流をさがんにするネットワーク」

- インターネット・ホームページ運営事業 105万2千円  
都留市の情報の発信と情報収集を目的として、インターネット上に開設したホームページにより、広くサービスの提供を図ります。
- 国際友好交流促進事業 164万5千円  
友好都市ヘンダーソンビル市へ公式訪問団を派遣し、一層の交流を図ります。
- 都留文科大学国際交流事業 2,171万7千円  
アメリカカリフォルニア大学・中国湖南師範大学との交換留学生派遣、アメリカインディアナ大学・カナダリジャイナ大学・中国陝西師範大学への短期語学研修など、国際化社会に対応できる人材の育成を図ります。

## 「新しい時代を創る多彩な市民」

- 市民委員会活動費補助 120万円  
市民一人ひとりのアイデア・方法などを市政に反映できるよう、自発的なサークル・委員会活動に対して補助を行います。
- 都留市制45周年記念事業 436万8千円  
市制施行45周年を市民全員で祝い、市民憲章に基づく創造的なまちづくりの連帯意識をもった祭典とします。なお、4月29日は「みどりの日」であることから、環境や緑の大切さを、市民全員で考えるイベントとするため、各種行事を行います。
- 若者ふれあい男女交流事業 50万円  
少子化対策の一環として、結婚相談所を中心に結婚機会の提供を図ります。